

第13回写真「I.WALL」
グランプリ受賞者個展

浦芝眞史展

身体の森で

2016年7月20日(水) - 8月5日(金)
11時 - 19時 日曜休館 入場無料

Photography

RECRUIT

Guardian
Garden

I.WALL



ある人は、200万円かけてその胸を取りたいという。

またある人は女に生まれたかったというし、別のある人は男になりたいという。もし、世界にいる人間がその人だけなら、彼らはそんな悩みを持つこともなかっただろう。

人はたくさんの他者の間で生きている。だからこそ悩みを持つ。

例えば200万円払って望む身体になるということが、悩みを解消するための最善の選択肢なのかどうか、今はまだわからない。

ただ私は、彼らの身体を今のままでも十分に美しいと思った。

浦芝真史

オープニングパーティー

2016年7月20日[水]

19:00-20:30

*弊社の都合により、ご入場をお断りする場合がございます。

トークイベント

2016年7月22日[金]

19:10-20:40 参加無料・要予約

高橋朗 × 浦芝真史

[PGIギャラリーディレクター]

*詳細はWEBをご覧ください

第13回写真「1_WALL」展

2015年10月26日[月]-11月19日[木]

審査員[五十音順/敬称略]

飯沢耕太郎 | 写真評論家

菊地敦己 | アートディレクター

鷹野隆大 | 写真家

高橋朗 | PGIギャラリーディレクター

わからないことの本質は、わからないところがわからないことである。それゆえわからないことは居心地の悪いものであり、ときとして人を不安に陥れる。

ここに写された人たちは、拠って立つ基盤をなくして底なしの奈落到落ちてゆくように浮遊している。

男であることや女であること、あるいは男を愛することや女を愛すること、さらには日本人であることも。

しかしここには様々な可能性が胚胎している。それは撮り手がわからなさのなかに踏みとどまって撮影したからこそ写ったものだろう。浦芝真史の作品はそうしたゼロ地点に我々を連れて行ってくれる。

鷹野隆大 | 写真家



第13回写真「1_WALL」展の展示作品
「ゆく、ふれるやいなや」

浦芝真史 | Masashi Urashiba

1988年 大阪府生まれ

2011年 関西大学法学部政治学科卒業

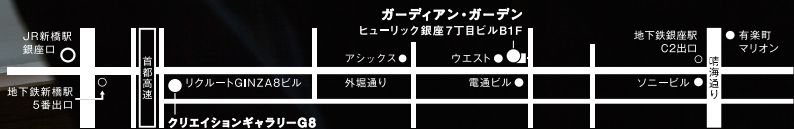
2013年 ビジュアルアーツ専門学校大阪写真学科卒業
受賞

2015年 第13回写真「1_WALL」グランプリ
グループ展

2016年 I Only Have Eyes For You / de sign de > [大阪]

2015年 第13回写真「1_WALL」展 / ガーディアン・ガーデン [東京]





ヒューリック銀座7丁目ビルの地下1階です。洋菓子ウエスの横の階段を降りて下さい。

ガーディアン・ガーデン 〒104-8227 東京都中央区銀座7-3-5 ヒューリック銀座7丁目ビルB1F

TEL | 03-5568-8818 FAX | 03-5568-0512 WEB | <http://rcc.recruit.co.jp/>

Twitter | @guardiangarden Facebook | [facebook.com/guardiangarden.tokyo](https://www.facebook.com/guardiangarden.tokyo)